

小学校第4学年 社会



地形や交通網などについてまとめた透明な地図を重ねることで、県の地理的環境の特色を考え、表現する。

小学校第4学年 社会「見つめよう わたしたちの福島県」

■単元の目標

自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して、**県の様子を地図帳や各種資料で調べ、白地図などにまとめ、表現することを通して、自分たちの県の地理的概要を理解できるようにする**とともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

■単元の概要

県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについて県の輪郭だけの透明な地図（教師作成）にまとめ、それらを重ねることで、情報を総合しながら、県の地理的環境の特色を考え、説明し合う。

■単元の指導計画（8時間）

第1時 学習問題をつくる

「福島県にはどのような特色があるのかな？」

第2時 予想を基に、学習計画を立てる

- ・地形 ・産業 ・交通
- ・主な都市の位置（人口 など）

第3～6時

学習計画にそって地図帳などで調べ、**透明な地図にまとめる**

第7時 まとめた透明な地図を重ねて、県の地理的環境の特色を説明し合い、その概要を文章にまとめる

- ・地形と交通網
- ・主な都市の位置と産業 など

第8時 県の学習を発展させ、47都道府県の名称と位置を調べ、白地図にまとめる

■小単元の概要

福島県の特色を予想した地図を描き、比較して、地形や交通網など、地理的環境の概要についての認識にはずれがあることを確認し、学習問題や学習計画を立てる。

地図や統計などの各種資料を活用しながら、地形や交通網などについて調べ、調べた観点ごとに、その特色を県の輪郭だけ示した透明な地図にまとめる。

「県全体の地形と交通網」「県全体の地形と主な産業の分布」「交通網と主な産業の分布と主な都市の位置」など、自分や他の児童が観点別にまとめた複数の地図を重ね合わせ、情報を総合しながら、地理的環境の特色を考える。まとめた地図を基に互いの考えを説明し合い、地理的環境の特色について共有したことを踏まえて、地図を修正し、県の地理的環境の概要を文章にまとめる。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（7時間目）

【学習活動の場面】

県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などについてまとめた透明な地図を重ね、「地形と主な産業の分布」「交通網と主な都市の位置」などを総合し、県の様子に関する自分の考えをもつ。全体で説明し合い、共有したことを踏まえて地図を修正し、県の地理的環境の概要について文章にまとめる。

【子供の「深い学び」の姿】

- **Aは自分が作成した主な都市の位置に関する地図を取り出した。**
A「人口の規模で色分けして地図にまとめたら、福島市や郡山市などの主な都市は県の中央部に南北に並んでいると分かった。」
- **その後、他の児童がまとめた交通網の地図を重ねて総合して考えた県の特徴を全体に説明した。<話し合い>**
A「主な都市の位置と交通の地図を重ねると、人口の多い福島市や郡山市、白河市が東北新幹線沿いに南北に並んでいるよ。」
B「地形と交通の地図を重ねると、東北新幹線は奥羽山脈や阿武隈高地の間の標高が低いところを通っているね。」
C「産業と交通の地図を重ねると、福島市といわき市は高速道路でつながっているから、水産業がさかんないわき市でとれた魚が福島市でも売っているのだね。」
- **Aは話し合いを通して、他の児童の考えを取り入れて地図を修正し、県の地理的環境の概要を文章にまとめた。**
A「奥羽山脈や阿武隈高地にはさまれた県の中央部は新幹線などの交通が発達していて人口も多いことが分かった。水産業がさかんないわき市や伝統産業がさかんな会津若松市も高速道路が通っていて、地形・交通・産業などは関係していると思った。」

【当該指導での「深い学び」】

Aは単元を通してまとめた**自分の地図や他の児童の地図を重ねることで、主な都市の位置と交通網とを総合しながら県の特徴を考え、説明することができた。**また、話し合いを通して県全体の地形や主な産業の分布についての**考えを取り入れながら、地図を修正し情報を総合することで、地理的環境の概要の理解へとつなげていった。**

■指導上の工夫とICTの利活用

① **これまでに一人一人まとめた地図をクラウド上の学級フォルダに集約し、選択して使用できるように準備する。**

* 白地図を透明シートにすることで、複数の観点を重ねて読み取ることが可能となる。共有機能を活用し、自分だけでなく、他の児童がまとめた地図も参照しながら、地理的環境の特徴を考えた。

② **地図を配信することで、手元の端末で地図を見ながら説明を聞くことができるようにする。**

③ **話し合いを通して、自分の地図を修正し、県の特徴を文章にまとめる。**

* 端末上でデータの地図を作成しているため、他者の意見を参照し、随時修正したり、管理・複製したりするなど、考えながらまとめた。



【活用したソフトや機能】
ロイロノート
(資料箱・共有・配信機能)
透明な白地図 (教師作成)

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領 第2章 第2節 社会

第2〔第4学年〕 2 内容 (1) 都道府県の様子

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 我が国における自分たちの県の位置，県全体の地形や主な産業の分布，交通網や主な都市の位置などに着目して，県の様子を捉え，地理的環境の特色を考え，表現すること。

学習指導要領解説 第3章 第2節

2 第4学年の内容 (1) 都道府県の様子

地理的環境の特色を考え，表現するとは，例えば，県の位置や県全体の地形，主な産業，交通網や主な都市の位置などの情報を総合して，自分たちの県の概要や特色を考え，文章で記述したり，白地図などにまとめたことを基に説明したりすることである。